

石川県
七尾市×羽咋市
×中能登町

マンガで分かりやすい!

能登暮らし
はじめての一步

能登地域の移住・定住 ガイドブック

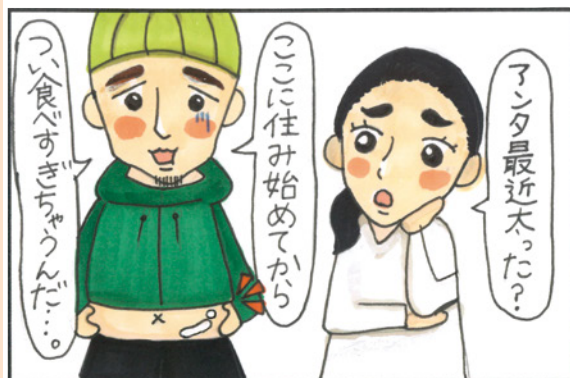
 Hakui

Nanao 

Nakanoto 



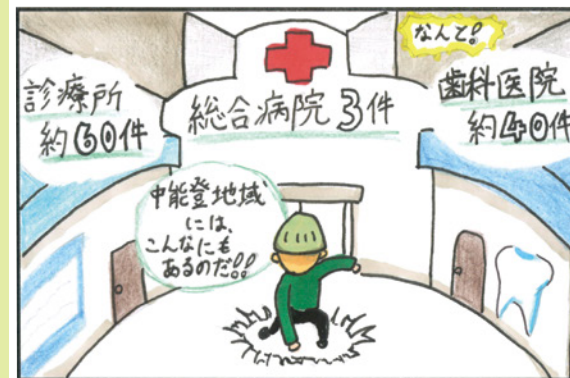
食べすぎ注意



里山里海の幸



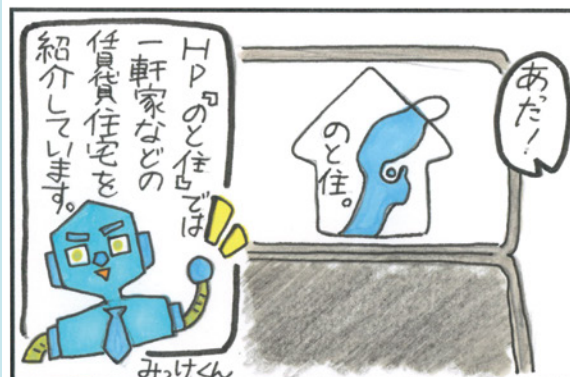
安心して暮らせるまち



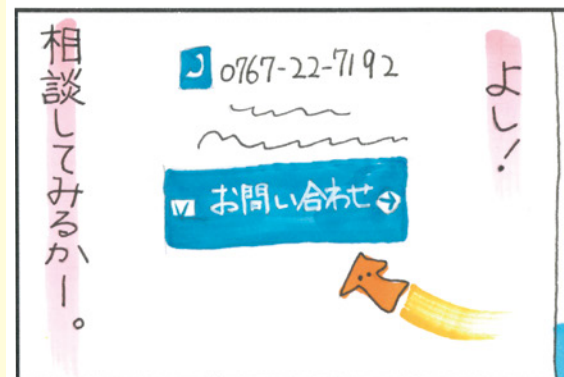
地域の子



テレワーク 一軒家



移住相談のります。



のと住。Q&A

～能登に住むうえで気になることにお答えします～

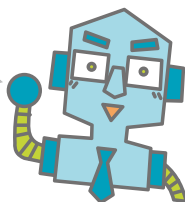


気候について

日本海側の気候であり、年間を通して降水量が多く、湿度が高いことから、美肌で上位にランクインしています。北陸の中では夏はやや涼しく、冬は雪が積もることもあります。積雪量は比較的少なめです。

平均気温は13.5度～14.0度(1981～2010年気象庁観測データ)です。

車を運転する時には、冬用タイヤ(スタッドレスタイヤ)が必要です。



車の必要性について

電車や路線バスなどの公共交通機関はありますが、便数が少ないなど都会とは違い、思うように利用できない場合があるかもしれません。通勤や買い物など日常的な利便性を考えると自家用車は欠かせません。



空き家バンクについて

地域内には市営住宅、町営住宅や不動産屋で探す以外にも「空き家バンク」でも物件を紹介しています。「のと住。」では、七尾市、中能登町、羽咋市の空き家情報バンクの中から、補修箇所が少ない、良質な空き家で賃貸または賃貸か売買が選択できる物件を紹介していますのでご相談下さい。



移住体験について

能登地域ではほどよい田舎暮らしを体験できるよう、お試し移住体験や農業体験プログラム等を用意しています。「興味はあるけど、いきなり移住は…」という方は、この機会にご利用してみませんか？



食について

能登地域は「おいしい食材の宝庫」です。里山里海に囲まれ、自然の恵みをたくさん受けた新鮮な海の幸や山の幸、里の幸が味わえます。また、自分で旬の魚を釣ったり、山菜を採ったりする楽しみもあります。



町内会について

自治会や町内会とは住民同士の自由な意志によって結成されている任意の団体です。自治会や町会に加入した場合「町会費」を支払うことが必要になります。世帯数や運営方法によって各町会で金額や集金方法は異なりますが、どれも町会の運営や維持管理に欠かせない大切なお金です。



移住支援員について

能登地域では移住を希望される方に寄り添い、のと移住へ向けてサポートする相談員(移住プランナー)がいます。是非、移住者の方のお話が聞きたいという方はご相談下さい。



移住者からの声

～移住を考えている方へのメッセージ～



七尾市移住



野田和弘・真生未さん

「わんこと泊まれる宿 旅宿やす田」を営んでおります。30年以上空家になっていた祖父母の家をなんとかしたくて、2019年1月に新潟市から能登中島へ移住しました。古民家は、改修するより建て直した方が安い!と言われる中、改修の道を選び、古き良きものと共に生活しています。大変な事も多々ありましたが、思い切って始めたからこそ、色々な方が協力して下さり、スピード実現できたのではないかと思います。どんな小さな事でも構いません!思い切って…お気軽にご相談ください。

七尾市移住

2013年に妻の実家がある七尾市へ移住しました。不便になることを心配していましたが、今はネットでも買い物ができますので思っていたより快適に過ごせています。ただ、移動手段が限られますので車の運転はできないと不便を感じるかもしれません。都会に比べ、近所付き合いや地域の行事ごとなどが増え、週末も忙しく過ごしています。そういったことも楽しめる方にぜひお越しいただきたいと思います。



木田 殖之さん

中能登町移住



辻屋 舞子さん

移住のきっかけは、家族の“ふるさと”を持ちたかったからです。家族の絆(心の繋がり)以外は、暮らし・仕事・過ごし方が全て変わりました。暮らし始めてからがスタートだと思います。都会から地方への移住で大切な事は、現地を訪ねることだと思います。ぜひ、中能登地域にお越しください。お待ちしております!

羽咋市移住

ぜひ目的や目標を持って移住してください。どれだけ準備をしても想像を超えるような事が色々起きると思います。でも目的や目標を持って移住しているとそのような出来事もすべて自分の人生の材料に生かしていけると思います。大きいとか小さいとか関係なく、ぜひ何か1つでも目的や目標を持ってください。するとそこから始まる田舎暮らしはきっと色鮮やかな素敵なものになると思います。



松本 仁孝さん

羽咋市移住



清水 江梨さん

私たち夫婦が移住を考え始めたのは、東日本大震災がきっかけでした。物資が溢れるほどあると思って疑っていなかった東京に住んでいましたが、スーパーやコンビニから水が消えました。いつもあるはずの陳列棚にあるのは炭酸水だけでした。当たり前のことは、“あたりまえ”ではなかったと気づき、「生きていくために必要な食べ物を生産できる」ということは、ものすごく強い!!と感じ、農地のあるところへの移住も視野に入れながら、過ごしていました。実際に移住に至るまでには、7年かかりました。身よりもいい場所で生活、子育てをしていくということは、想像より大変です。そして、同じ日本であれど、生活習慣の違いや方言に戸惑うことも少なくはありません。とはいえ、恵まれた海の幸に食卓が華やき、心を通わせることのできた友達に恵まれた今は、日々楽しく、家族の絆はより深まり、自分自身も意欲的に実行するという感覚が身についたと思っています。人生一度きり、移住を考えている方は、現地への視察を入念に!!四季折々を体感して頂きたいので、ご自身で訪ねることを強くお勧めします!

1

移住の目的を「明確」に

移住してすぐに自分がやりたいことをすべて実現できる人はいません。何で移住をしようと思ったのか、目的を明確にしておくことで悩んだ時も原点に立ち返ることができます。

2

風習や文化を「尊重」する

地域独自の風習や文化に戸惑うこともあるかもしれませんが、しかし、地域の風習や文化は先人が大切に守り育ててきたものです。地域の住民になったことを認識し、地域に馴染めるように努めましょう。

3

能登暮らしは「助け合い」

能登暮らしは人と人との助け合いの連続です。自分ひとりでは暮らしていきません。祭りや草刈りなど地域の行事に積極的に参加し地域を助けることで、あなたが困ったときには地域の人があなたに手を差し伸べてくれることでしょう。

4

移住先は「慎重」に決める

移住は人生において大きな決断です。例え、理想の移住先だと思ってでもすぐに移住することはおすすめしません。お試し移住体験施設やお試し移住制度を使い、その地域に足を運び、地域やそこの暮らしをよく知ってから移住を決めましょう。

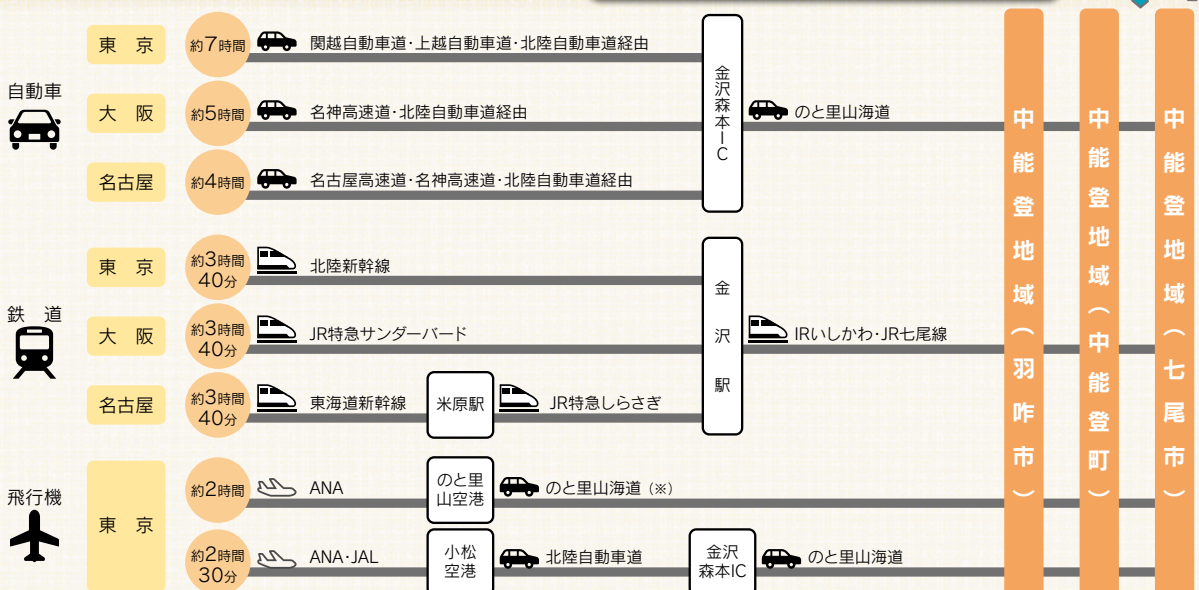
5

移住資金として「100万円」は用意する

田舎暮らしは都会よりもお金がかからないといっても、移住の際に引っ越し、改修など思わぬ出費があるかもしれません。暮らしが安定するまでの十分な資金を用意しておくことで、心にも余裕が持てます。

各地からの交通アクセス

石川県の日本海側に突き出た半島、能登半島の真ん中にある「羽咋市」「中能登町」「七尾市」は古い文化を大切に、今の社会にも合わせて成長しています。まだまだ伸び代がある、この地域と一緒に育てていきませんか？



※七尾市→中能登町→羽咋市の順に通ります。



能登地域移住交流協議会

〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地

TEL: 0767-22-7192 E-mail: iju@city.hakui.lg.jp URL: <https://notoju.jp/>

のと住。

